

2011年度 卒業研究 論文題目

基礎・健康開発看護学講座

→ 看護アセスメント学分野

(指導教員 菅野恵美)

- ・緑膿菌クオラムセンシング分子 N-(3-oxododecanoyl)-L-Homoserine Lactone (3-oxo-C12-HSL) による創傷治癒の促進
- ・創傷治癒過程における緑膿菌クオラムセンシング分子 N-butanoyl-L-homoserine lactone (C4-HSL) の影響

→ 看護教育・管理学分野

(指導教員 朝倉京子)

- ・男性看護師の生存方略 —男性看護師が困難を乗り越え、存在感を放つまで—
- ・看護師の職業性ストレスと精神的健康との関連
- ・男性が看護を学び、職業として続けていくに至るプロセス
- ・看護米国におけるの専門性確立の経緯—ナース・プラクティショナー成立の背景を焦点にして—
- ・病室環境における更衣時の生理指標と対人距離との関連
- ・ベッド上臥床者のパーソナル・スペースとその関連要因—性別、接近者性別、視線、不安との関連—

(指導教員 佐藤みほ)

- ・幼少期における家族の習慣の頻度と思春期における学校帰属感覚の関連
- ・看護師の情緒的職業コミットメントと専門職的自律意識の関連
- ・家族の凝集性と高校生の精神的健康、心身症状との関連

→ 老年保健看護学分野

(指導教員 川原礼子)

- ・一般病棟看護師が退院前訪問に参加する意義及び課題に関する文献検討
- ・認知症高齢者をケアする看護師の感情に関する文献検討
- ・地域における高齢者の孤独死予防活動の実態及び今後の課題について—地域に住む高齢者及び地域ケア従事者を対象とした文献検討より—
- ・急性期ベッドサイドリハビリテーション看護に関する文献検討—その実態と課題について—

(指導教員 齋藤美華)

- ・認知症高齢者を在宅介護する家族介護者に関する文献検討—介護の肯定的な側面に焦点を当てて—
- ・高齢者の社会参加を促進する要因と今後の課題に関する文献研究

(指導教員 大槻久美)

- ・高齢者介護に対する主介護者の思いについての文献検討—看護師が行う退院支援に焦点を当てて—

→ 地域ケアシステム看護学分野

(指導教員 末永カツ子)

- ・災害時に自閉症児と家族が直面した困難と今後の課題
- ・東日本大震災時における発達障害児の反応と家族の対応
- ・新聞報道にみる東日本大震災時の発達障害者と家族の困難と支援

(指導教員 高橋香子)

- ・地域住民の健康ニーズに基づく統合医療の在り方を目指して—文献検討から見る今後の方向性—
- ・二次避難をする自治体の住民の意思決定要因の考察—住民の安全安心な暮らしを途切れさせないための支援とは—
- ・被災地における住民主体の地域活動に関する文献検討
- ・地震災害における高齢者の精神的健康に関するこれまでの研究動向と今後の課題

(指導教員 栗本鮎美)

- ・農村部の高齢者における社会的孤立の発現率とその特徴—日本語版 LSNS-6 を用いて—

→ 地域保健学分野

(指導教員 南 優子)

- ・保健管理態度と全身性エリテマトーデスの予後に関するコホート研究
- ・乳がん患者における肥満度と死亡リスクとの関連
- ・がん家族歴・肥満度と胃がんの予後との関連
- ・都道府県別社会経済的要因と女性の各種疾患死亡率の相関分析

→ 国際看護管理学分野

(指導教員 平野かよ子)

- ・留学生が体験した日本の医療と看護 —異文化を理解した看護のあり方を求めて—
- ・自然災害における日本の医療支援制度の現状と課題に関する研究—災害時の良質な医療及び公衆衛生支援に関する提言—
- ・日本と諸外国における保健師教育の現状に関する文献レビュー—英国を参考に—

→ 成人看護学分野

(指導教員 菊地史子)

- ・緩和ケア病棟に従事する看護師のケアに対す満足度-緩和ケア経験年数とコミュニケーションスキルとの関連に焦点を当てて-

→ がん看護学分野

(指導教員 佐藤富美子)

- ・看護学生の死生観に影響する要因の検討
- ・外来化学療法を受けているがん患者の気がかりに関する文献検討
- ・胃がん術後患者の退院後の生活における困難と対処に関する文献検討

(指導教員 柏倉栄子)

- ・手術室看護師が抱くやりがいについて-文献検討の結果から-

→ 緩和ケア看護学分野

(指導教員 宮下光令)

- ・がん患者の疼痛が QOL に与える影響について-がん患者療養施設別調査-
- ・がん患者における疼痛と QOL の関連について-外来受診患者、外来化学療法室受診患者、入院患者における調査-
- ・一般市民から抽出した遺族による終末期ケアの構造・プロセスと望ましい死の達成-がん・脳卒中・心疾患の死因別での検討-
- ・一般市民から抽出したがん患者の遺族による、緩和ケアの質と望ましい死の達成の評価
- ・在宅緩和ケアに対する遺族の満足度に対する影響要因の探索
- ・医師の緩和ケアに関する知識とその関連要因
- ・訪問看護師の在宅がん緩和ケアに関する態度・実践・困難感・知識の評価尺度の作成
- ・看護師のがん看護に関する困難感尺度の作成

(指導教員 佐藤一樹)

- ・緩和ケア病棟で提供された終末期がん医療の施設別の実施割合と施設背景との関連
- ・緩和ケア病棟で提供された終末期がん医療の施設間差による遺族による緩和ケアの質評価への影響

→ 小児看護学分野

(指導教員 塩飽 仁)

- ・軽度発達障害の子どもをもつ家族がとらえた支援の現状と課題
- ・大学生がきょうだいに対して持つ認識と行動に関する実態調査と関係性の変化の考察

(指導教員 鈴木祐子)

- ・医療系学生の自身や家族の入院および親族内の医療従事者の有無が学部選択に及ぼす影響

→ 精神看護学分野

(指導教員 齋藤秀光)

- ・認知症患者の介護者に対する家族心理教育の有用性に関するレビュー
- ・うつ病患者の家族に対する家族心理教育の有効性-家族の負担軽減と患者の症状改善について-

(指導教員 齋 二美子)

- ・身体合併症を有する統合失調症患者への看護に関する文献検討

→ 周産期看護学分野

(指導教員 佐藤喜根子)

- ・岩手県における周産期医療の現状-医療従事者数と健康医療指標との関連性-
- ・大学生の結婚観に関する文献レビュー
- ・震災時における周産期女性のニーズ-東日本大震災発生時に産褥期および妊娠末期にあった女性の事例検討-

(指導教員 小山田信子)

- ・イクメンプロジェクト「育休・育児体験談」にみる父親の育児経験

(指導教員 佐藤祥子)

- ・妊娠期から産褥期にかけての妊婦・褥婦の感情の変化について
- ・NICU に入院する児をもつ母親の受容過程
- ・第 2 子が NICU に入院している産後 1 か月の経産婦の第 1 子への気持ちと対応

→ ウィメンズヘルス看護学分野

(指導教員 吉沢豊子)

- ・A Quality of Life Measure for Limb Lymphoedema (LYMQOL)
- ・母乳栄養と自己効力感・ソーシャルサポートの影響-1 か月間における栄養経過別での比較から-
- ・月経周期に伴う体内水分量の変動に関する研究-主観的評価と客観的評価を通して-

(指導教員 跡上富美)

- ・更年期症状の変遷 —比較に際しての尺度の検討から—
- ・中年男性の男性更年期のとらえ方と自覚症状との関連
- ・夫婦関係・家族形成発展にコートシップが及ぼす影響 —アメリカと日本の文献比較から—

(指導教員 中村康香)

- ・妊娠期のわが子に対する肯定的な感情と産後の育児との関連
- ・入院している切迫早産妊婦の肯定的な体験について